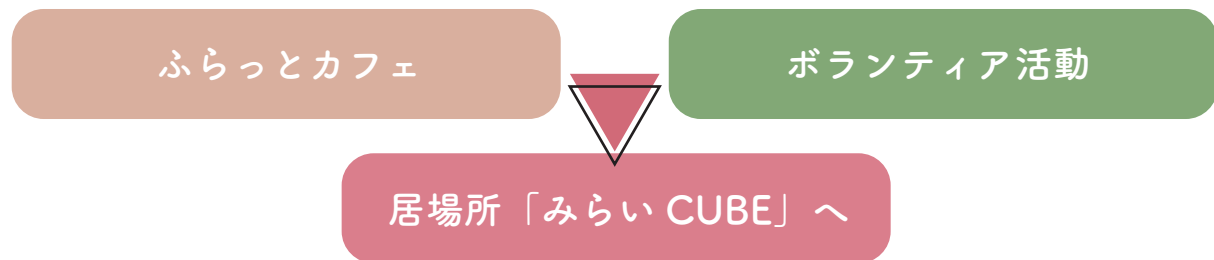


## まとめ



**本** 事業は、対象者の心理的・社会的支援を通じて、地域社会の活性化や個々の自立支援に大きく貢献した。特に、ふらっとカフェやマイスタースクールを通じて、利用者が社会参加へとステップアップする仕組みを構築し、実際の就労支援にも成果を上げた。ボランティア活動の継続的な参加も促され、地域全体の支援意識向上に寄与した。

一方で、事業の持続化には財政基盤の安定化、認知度向上、新規参加者の獲得が重要な課題となる。助成終了後も、企業協賛や自治体支援の活用、クラウドファンディングなどの多様な資金調達を模索しながら、事業の発展を目指す。また、全国の事業者との連携を強化し、成功モデルを他地域へ展開することで、さらなる波及効果を生み出していく。

今後も、事業の継続的な改善を図りながら、社会的課題の解決と持続可能な支援の提供を目指していく。



## 未来 ISSEY

私たち未来 ISSEY は、突然の病気に不安、恐怖、孤立を抱えながら闘っている子どもとその家族が少しでも笑顔で希望をもって治療できる社会にしたい、そんな思いで活動しています。

### 特定非営利活動法人 未来 ISSEY

〒763-0003 香川県丸亀市葭町 17

Tel. 0877-35-8115

Mail. miraissey@gmail.com



miraissey.com

## 休眠預金活用事業

# 事後評価報告書

### 未来 ISSEY

**本** 事業は、病弱児を抱える家庭や AYA 世代の慢性疾患患者の社会的孤立を解消し、母親と子どもが前向きに生活できる環境を整えることを目的として実施された。母親の精神的ケアや子どもの成長支援、さらに就労機会の創出までを包括的にサポートすることで、社会的自立へとつなげることを目指した。具体的には、相談・交流の場である「ふらっとカフェ」、スキル習得を支援する「マイスタースクール」、自己肯定感向上を目的とした「趣味スクール」、社会参加を促す「ボランティア活動」を展開。助成期間を通じて、対象者が安心して参加できる仕組みづくりを進め、単なる支援に留まらない持続可能な仕組みとしての確立を目指した。

## 事業の成果と波及効果

### ふらっとカフェ

#### 成果

- ・利用者アンケートにより 80% の目標達成が確認され、孤独感の軽減や心の支えとしての機能が高く評価された。
- ・母親同士の交流が促進され、子どもたちの前向きな気持ちの醸成にも寄与。
- ・小児がんを患った子どもやその家族にとって、安全でリラックスできる場となり、精神的サポートを提供。

#### 利用者の声

- ・「ここに来ると、同じ悩みを抱えた人たちと話せて安心する。私だけじゃないと感じられるのが大きい。」
- ・「スタッフの方々がとても親身になって話を聞いてくれて、悩みを整理することができた。」

#### 社会課題の貢献

- ・地域コミュニティの活性化、母親の孤立感解消、小児がんを患った子どもやその家族への精神的サポート。

#### 課題

- ・認知度の低さにより、新規利用者の獲得が難しい。
- ・イベントの継続開催には人的・財政的リソースの確保が必要。



## 事業全体を通じた成果（一部）



「ふらっとカフェ」をきっかけに、スキルを持ちながらも職場環境に適応できなかった女性が再び社会で活躍できるようになった。現在ではオンライン勤務を含め週 4 日働き、チラシや HP 制作など多方面で活躍している。



19 歳の男性が「ふらっとカフェ」をきっかけに引きこもりから一歩踏み出し、支援活動に関わる中で自信を取り戻した。仲間とイベントを企画しながら成長し、昨年大学に合格。この春から看護師を目指して学んでいる。



一般社団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）の助成事業で実施しております。

## マイスタースクール

### 成果

- ・90%以上の満足度を達成し、参加者の自己肯定感の向上や、新しい趣味を通じた生きがいの創出に寄与。
- ・趣味活動がストレス軽減や精神的な安定にもつながることが確認された。

### 利用者の声

「趣味を持つことで子育て以外の時間も充実し、子どもとの時間もより楽しめるようになった。」

「何かに挑戦すること自体が久しぶりで、新しい自分を見つけた気がする。」

### 社会課題の貢献

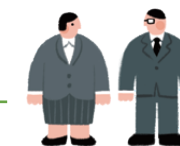
- ・孤立感の解消、地域住民の心の健康維持、精神的なウェルビーイングの向上。

### 課題

- ・講座情報の発信力不足により、興味はあっても参加を迷う人が多い。
- ・講座の多様性をさらに高める必要がある。



## ボランティア活動



### 成果

- ・100%の目標達成。ボランティアの社会貢献意識が向上し、継続的な活動者の獲得に成功。
- ・地域住民と学生の参加が増加し、社会的なつながりが深まる効果が確認された。

### 利用者の声

- ・「自分が誰かの役に立っているという実感が、自己肯定感を高めてくれる。」
- ・「ボランティア活動を通じて新しい仲間ができて、地域とのつながりを強く感じられるようになった。」

### 社会課題の貢献

- ・地域住民の社会参加の促進、支援意識の向上。

### 課題

より多くの参加者を巻き込むための広報戦略の強化が必要。



## 仕事に繋がった実績

表1：本事業を通じて実益に繋がった人数

アウトプット	人数	備考
ふらっとカフェ	4人	資質・技術がマッチングしたことにより、仕事の受注に発展。
マイスタースクール	4人	マイスタースクールでスキル獲得により仕事の受注に発展。

表2：本事業による収益

年	受注件数	売上額	純利益
2023年	9件（内香川県4件、他府県5件）	199,000円	86,965円
2024年	37件（内香川県33件、他府県4件）	1,263,159円	402,117円

表3：外部との連携実績

分類	数	連携事業内容
企業	・14企業（仕事） 行政書士のエンタメ研究所等 ・15企業（寄付）	・チラシ作成・動画編集等の仕事の受注 ・寄付金、寄付物品の寄贈
高校・大学など	・4校 香川大学医学部他、 大学1校、高校2校	・学生ボランティア事業の学生への紹介、 事業継続のためのシステムの構築 ・ボランティア活動の場の提供
民間の支援機構	・10団体 県内外 NPO	・支援方法や事業継続のための情報交換
行政関係 福祉関係機関	・12団体 香川県子ども家庭課他、4保健福祉事務所、丸亀市、高松市 香川県社会福祉協議会、丸亀市社会福祉協議会、坂出市社会福祉協議会等 子ども家庭庁、文部科学省	・支援事業の委託、当事者の問題解決における専門的アドバイザー ・寄付物品の寄贈、ボランティア活動の人材の提供 ・病気になることもと家族が抱える就労・教育問題について 事業説明や冊子送付等で提案
その他	・NHK・民法・四国新聞他報道機関 ・一般のボランティア活動に興味 関心のある方々	・抛り所カフェの機能から広がる未来 ISSEY の事業全体を積極的に報道 ・ボランティア活動への参加、製作品の寄付

## 趣味スクール



### 成果

- ・70%のアウトカム達成。受講者の意欲向上や社会参加の促進に寄与。
- ・実際にスキルを活かして就職や仕事に結びついた事例が複数確認された。
- ・受講者の多くが「学ぶこと」自体に前向きになり、自己成長を実感。

### 利用者の声

- ・「講座を受けたことで、自宅でできる仕事を始める自信がついた。」
- ・「スキルが身につくと自信が生まれ、もっと学びたいになった。」

### 社会課題の貢献

- ・スキルの定着支援が不十分であり、受講後のフォローアップ体制の強化が必要。
- ・企業との連携を深め、より実践的なスキル習得の場を提供することが求められる。

### 課題

職業スキルの習得支援、社会復帰への促進、経済的自立のサポート。



マイスタースクール趣味コースは、生きづらさを抱える人々の作品を販売や制作依頼に繋げる成果を得た。スキルを持つ人の才能が活かされる機会づくり創出に貢献。



みらい CUBE の存在が評価され、子ども家庭庁の「こどもまん中アワード」で内閣総理大臣表彰を受賞。地域の拠点として信頼関係を築き、人々が集い支え合うようになったことが活動の広がりとなつたことが活動の広がりとなつたことが活動の広がりとなつたことが活動の広がりとなつた。



みらい CUBE の誕生により、「ボランティアワークショップ」が生まれた。病院で付き添う家族を支援する「エールバッグ」の発想を続けている。地域の高校生も積極的に参加し、支援の輪が広がっている。